

講義コード	11C0281400	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	外木 好美	開講期	通年
科目名	国際金融								
履修前提条件						備考			
授業の目的	この授業では、数式や図を使って、国際金融にまつわる経済理論を学びます。ここで利用する経済理論は、ミクロ経済学とマクロ経済学、金融論で学んだ内容が基礎となります（主にマクロ経済学）。マクロ経済学や金融論で学んだ金融の仕組みや制度、経済政策等について、為替レートや国際収支を通じた影響も踏まえて、理論的なアプローチから理解することを目的とします。 先に、ミクロ経済学、マクロ経済学、金融論を履修していることが望ましいです。第1期では、①財市場、②貨幣市場、③為替市場の各々の市場を理論的に分析します。第2期では、これら市場を同時に分析し、一国経済の政策の在り方について学びます。								
到達目標	第1期では、以下の3点を到達目標としています。①国際的な資金の融通の意味を理解すること、②物価や金利、為替レートが各市場でどう決まるのか理解すること、③金利や生産物の裁定取引から、金利や物価と為替レートとの間の関係を理解すること。①～③で、学ぶ数式がいくつかあります。一つ一つ数式の意味を理解し、グラフで分析ができるようになることを目標とします。 第2期では、第1期の内容を理解していることを前提とし、以下の2点を到達目標としています。①マンデル・フレミングモデルに基づいて、開放経済の下での経済政策について理解すること、②現代の国際金融を取り巻く問題を知ること。国際金融論1で学習した各市場の分析を基礎として、財市場の均衡、貨幣市場の均衡、為替市場の均衡を同時に分析することになります。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業では、直感的な理解ができるよう努めます。授業後に教科書を読み込むことで、経済学的な文章に慣れてください。その上で、各章の復習問題に取り組み、自身の理解度を確認してください。国際金融論は、ミクロ、マクロ、そして金融論を総動員する内容となっています。そのため、これまで学習してきた内容の理解が不十分だと、国際金融論の理解が難しいでしょう。授業中に基礎となる科目の内容にも触れますが、多岐にわたるため、あくまでも簡単な復習レベルです。是非、講義後に個別に質問に来るようにしてください。 授業外学修は120時間以上行うこと。								
授業計画	<p>【第1回】ガイダンス、基本的視点の設定：経済学の基本的な考え方 【第2回】基本的視点の設定：金融取引の意味と効果、国境を超えた経済取引を考える 【第3回】国民経済計算と国際収支会計：国民経済計算、GDPの構成要素 【第4回】国民経済計算と国際収支会計：国際収支統計 【第5回】貨幣とマクロ経済：貨幣とその役割、資産としての貨幣とその特徴、貨幣需要、貨幣供給 【第6回】貨幣とマクロ経済：貨幣市場の均衡、貨幣と物価 【第7回】為替レートと外国為替市場 【第8回】予備日 【第9回】金利と為替レート（資産市場における裁定）：金利裁定とカバー付利子平価、カバーなし金利平価と均衡為替レート 【第10回】金利と為替レート（資産市場における裁定）：貨幣市場と外国為替市場（利子率と名目為替レート） 【第11回】金利と為替レート（資産市場における裁定）：リスク・プレミアム 【第12回】金利と為替レート（資産市場における裁定）時間の経過と均衡の変遷 【第13回】物価と為替レート（生産物市場における裁定） 【第14回】質問受付 【第15回】第1期のまとめ 【第16回】為替レートと実体経済：総需要と総供給、総需要とその決定要因（内需、外需） 【第17回】為替レートと実体経済：生産物市場の短期均衡、経常収支の考察 【第18回】為替レートと開放マクロ経済政策：生産物市場と資産市場の同時均衡（閉鎖経済）（1） 【第19回】為替レートと開放マクロ経済政策：生産物市場と資産市場の同時均衡（閉鎖経済）（2） 【第20回】為替レートと開放マクロ経済政策：開放経済への拡張（マンデル・フレミングモデル） 【第21回】為替レートと開放マクロ経済政策：変動相場制における金融・財政政策の効果 【第22回】為替レートと開放マクロ経済政策：国際資本移動の規制と政策効果 【第23回】予備日 【第24回】為替レートと開放マクロ経済政策：予想の変化と政策効果、短期から長期への均衡の変遷 【第25回】為替政策（為替介入と為替相場制度）：為替相場制度の選択、為替介入 【第26回】為替政策（為替介入と為替相場制度）：固定相場制度、固定相場制度下の金融・財政政策 【第27回】為替政策（為替介入と為替相場制度）：通貨同盟と最適通貨圏 【第28回】国際金融を取り巻く難問： 【第29回】国際金融を取り巻く難問： 【第30回】第2期のまとめ</p>								
成績評価の方法	各章の課題提出と、期末試験の点数で評価します。								
フィードバックの内容	各章で復習問題で、習熟度を確認してもらいます。ミクロ、マクロ、金融と基礎となる科目が多く、どこでつまづいているのかは学生によってバラツキます。もし解答に困ったら、講義後に残っている時間で質問をしてください。個別に対応します。勉強したつもりではなく、先生に質問しながら能動的に学習をしてください。								
教科書	『コア・テキスト国際金融論第2版』藤井 英次（新世社）2013								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	算数、数学、図、数式等でわからないことがあったら、簡単なことでも、声をかけてください。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。								
その他									